

第一部

栄光の時代と 四隅突出型墳丘墓



「倭国乱れる」
中国の古い史書に「いつかをたれている。倭国、つまり日本は、二、三世紀ごろ、クニとクニとの争乱の時代であった。この時代はまさに邪馬台国の時代、倭国には戦乱の嵐が吹き荒れ、出雲の地も興亡のときを迎えようとしていた。

出雲独特の土器。戦乱の時代は、同時に各地方独自の色を濃くしていく、まさに「地方の時代」でもあった。この土器も、出雲の歴史を物語る、他の地方にはない特色を秘めている。

「この時代、もっとも出雲らしさを見せてくれたのは「壺」。四角形の四隅が飛び出た奇妙な形。貼石で整美に飾られた巨大な墳丘。「四隅突出型墳丘墓」と呼ばれる出雲地方独特の墳墓である。

「この奇妙な形の壺は、倭国史に「世紀に何を見たのであろうか。そしてわわわわわん何を伝えてくれたのだろうか……」。

* 絵は西谷3号墓より出土した土器。中央の土器が出雲地方独特の土器。